



# 芝山小だより



夏休み号  
清瀬市立芝山小学校  
校長 寺井 俊敬  
<http://www.kiyose.ed.jp/>

## 夏休みだからこそできることを

校長 寺井 俊敬

明日から夏季休業日です。今年の梅雨は、日本各地で被害をもたらし、今まで以上に雨が降った梅雨でした。梅雨も明け、いよいよ夏本番です。とはいえ、コロナウィルス感染症と熱中症に気を付けながら過ごしていかなければいけません。

コロナ禍であっても元気に通ってくる子供たちを見ていると、この4ヶ月間で少しずつたくましく成長していると感じます。また、命にかかわるような大きな事故もなくこの1学期を過ごすことができました。これも保護者の皆様、地域の皆様のご協力があったことです。ありがとうございました。

さて、昨年度の夏は、例年とは違い、2週間程度の短い夏休みでした。昨年度は、遠くに出かけることもできず、家で課題を行ったり、読書をしたりして過ごした人が多かったのではないのでしょうか。

今年の夏は、やはりコロナ禍で、遠くに出かけることはあまりできないかもしれません。しかし、例年のように36日といった長い期間の休みとなります。夏休みだからこそできることを3つ挙げてみます。

### 1 オリンピック・パラリンピック観戦

4年に1度の、オリンピック・パラリンピックが、東京を中心に日本各地で行われます。この数年間、オリンピック・パラリンピック教育で、様々な種目のこと、国のこと等について学習してきました。コロナ禍での、オリンピック・パラリンピックに心配なことも報道されていますが、実施するからには、出場する選手には、精一杯の力を発揮してほしいと思います。夏休みだからこそできること、の一つとしては、自分の興味のあるオリンピックの種目、パラリンピックの種目の観戦をしてほしいと思います。きっと一流のスポーツ選手から何かを感じとってくれることと思います。もちろんテレビの観すぎ、夜更かしには気を付けてください。

### 2 読書

はじめにも少し触れましたが、読書にも励んでほしいと思います。一昨年度、東京都で実施した「児童・生徒の学力向上を図るための調査」によると「毎日読書をどのくらいしますか」の問いに、第5学年の児童の約34%が「30分未満」約10%が「読書をすることはない」と答えています。さらに国語や算数の平均正答率との関連を調べると、30分以上読書をしている子どもと、30分未満や読書をしないと答えた子どもの正答率は、おおよそ10%程度違います。この傾向は過去の調査も同様です。読書の時間と学力が関係していることをうかがわせます。「課題図書を読もう」「今まで読んだことのないような長い話に挑戦してみよう」等、目標を決めてみるのもよいかもしれません。

### 3 自分で見つけた課題に取り組む

先日、夏休みに取り組んでほしい作文・ポスター等募集一覧を配布いたしました。東京都、清瀬市では、読書感想文コンクール、東京都小学生科学展の募集等を行っています。せっかくの長い休みです。普段はできないことでも、夏休みだからこそ、時間をかけて取り組めることがあると思います。2つも3つも欲張ることはありません。何か一つでも、この夏に頑張った、ということがあったら、2学期の生活、学習につながるのではないかと思います。

本日、終業式で子供たちに、交通事故、水の事故、不審者に注意することを話しました。また、困ったときには、近くの大人の人に相談するように話しました。2学期始業式、夏休みでたくましくなった子供たちの元気な姿を見られることを楽しみにしています。